


安全データシート

1. 化学品及び会社情報

SDS 品名	DPDマジック
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
FAX 番号	03-3245-6248
緊急連絡先情報	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
SDS 作成日	2010年07月22日
SDS 改訂日	2020年12月22日(04版)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
物理的危険性	<ul style="list-style-type: none">: 爆発物 分類対象外: エアゾール 分類対象外: 可燃性固体 区分外: 自己反応性化学品 分類対象外: 自然発火性固体 区分外: 自己発熱性化学品 分類できない: 水反応可燃性化学品 分類対象外: 酸化性固体 分類できない: 有機過酸化物 分類対象外: 金属腐食性化学品 分類できない
健康有害性	<ul style="list-style-type: none">: 急性毒性(経口) 区分外: 急性毒性(経皮) 分類できない: 急性毒性(吸入: 気体) 分類対象外: 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) 分類できない: 皮膚腐食性/刺激性 分類できない: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A: 呼吸器感作性 分類できない: 皮膚感作性 分類できない: 生殖細胞変異原性 分類できない: 発がん性 分類できない: 生殖毒性 分類できない: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない: 誤えん有害性 分類できない

環境有害性	:	水生環境有害性 短期（急性） 分類できない
	:	水生環境有害性 長期（慢性） 分類できない
	:	オゾン層への有害性 分類できない
絵表示（GHS JP）	:	
注意喚起語（GHS JP）	:	警告
危険有害性情報（GHS JP）	:	強い眼刺激
注意書き		
[安全対策]	:	取扱い後はよく手を洗うこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。
[応急措置]	:	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名 残留塩素測定試薬

化学名	CAS 番号	濃度	化学式	官報公示整理番号	
				化審法番号	安衛法番号
N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩	6283-63-2	—%	末尾に記載	3-243, 1-430	なし（公表化学物質扱い）
硫酸ナトリウム	7757-82-6	—%	Na ₂ SO ₄	1-501	なし（公表化学物質扱い）
第2リン酸ナトリウム（無水）	7558-79-4	—%	Na ₂ HPO ₄	1-497	なし（公表化学物質扱い）
リン酸二水素カリウム	7778-77-0	—%	KH ₂ PO ₄	1-452	なし（公表化学物質扱い）
トランス-1,2-シクロヘキサジジアミン四酢酸水和物	13291-61-7	—%	C ₆ H ₄ · (N(CH ₂ COOH) ₂) ₂ · H ₂ O	適用外（試薬）	3-(4)-59

《その他》

CAS No.	記載せず
化審法	登録済み
安衛法	登録済み

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：口の中を水で洗い、速やかに医師の手当てを受けること。
- その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。
-

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：周辺火災に適した消火剤
霧状の水
粉末消火剤
泡消火剤
炭酸ガス消火剤
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 消火を行う者の保護：不燃性であるが、加熱により毒性・有害性ガスが発生することがあるので、保護具を着用すること。
- 特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
粉塵を吸入しないこと。
- 環境に対する注意事項：排水溝または水路への侵入を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：少量包装品であり、一度に多量のもの飛散することはない。掃き集めて空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。
- 二次災害の防止策：特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 接触回避：「10.安定性及び反応性」を参照のこと。
- 安全取扱注意事項：取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
粉塵を吸入しないこと。

保管

- 安全な保管条件：製品の品質保持のため、直射日光及び湿気を避け涼しい場所に保管する。
- 安全な容器包装材料：湿気を防ぐため密栓できる容器。
-

8. ばく露防止及び保護措置

厚生労働省

- 管理濃度：設定されていない

日本産業衛生学会

- 許容濃度(産衛学会)：第3種粉塵：吸入性粉塵：2mg/m³、総粉塵 8mg/m³

ACGIH

- 許容濃度(ACGIH)：設定されていない

設備対策

- ：特になし。

呼吸用保護具

- ：布マスク。

手の保護具

- ：塩化ビニル、ポリエチレン等。

眼の保護具

- ：保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具

- ：材質を特定しないが、長袖・長ズボン。
-

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

- ：固体

形状

- ：粉末

色

- ：白色

臭い

- ：無臭

pH

- ：非該当

融点

- ：N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩のデータ：184～186℃

引火点

- ：なし（不燃性）

可燃性

- ：不燃性。

爆発範囲（上限、下限）（g/m³）

- ：データなし

蒸気圧	： データなし
溶解度	： 水に溶解する。
Log Pow	： 非該当
自然発火点	： 非該当
分解温度	： データなし
粘性	： 非該当
密度	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	硫酸ナトリウムはアルミニウム粉末と激しく反応して発熱し、酸化アルミニウム、硫化アルミニウム、硫化ナトリウム、酸化ナトリウム等を生成する。日光が当たると着色する。
化学的安定性	： 通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	： 情報なし。
避けるべき条件	： 高温。
混触禁止物質	アルミニウム粉末
危険有害な分解生成物	加熱すると分解し、有害な硫黄酸化物、酸化ナトリウム等のガスを発生することがある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	： 構成成分のデータから、加算式により区分外とした。
急性毒性（経皮）	： データが不十分で、分類できない。
急性毒性（吸入：粉末）	： データが不十分で、分類できない。
LD50 経口 ラット	： N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩のデータ：LD50（ラット）：450mg/kg〔*02〕、第2リン酸ナトリウム（無水）のデータ：LD50（ラット）：7400mg/kg、リン酸二水素カリウムのデータ：LD50（ラット）：7100mg/kg。
LD50 経口	： N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩のデータ：LD50（マウス）：318mg/kg〔*02〕
LD50 経皮 ウサギ	： リン酸二水素カリウムのデータ：LD50（ウサギ）：>7940mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	： 第2リン酸ナトリウム（無水）のデータ：弱い刺激性（ウサギ）〔*01〕、リン酸二水素カリウムのデータ：長期間の接触は刺激を起こす可能性がある。構成成分のデータから皮膚に弱い刺激性があると思われるが、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	： リン酸二水素カリウムのデータ：刺激性あり、第2リン酸ナトリウム（無水）のデータ：弱い刺激性（ウサギ）〔*01〕。構成成分のデータから、眼に強い刺激性がある（区分2）。
皮膚感作性	： データが不十分で、分類できない。

呼吸器感作性	：	データが不十分で、分類できない。
生殖細胞変異原性	：	データが不十分で、分類できない。
発がん性	：	データが不十分で、分類できない。
生殖毒性	：	データが不十分で、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	データが不十分で、分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	データが不十分で、分類できない。
誤えん有害性	：	データが不十分で、分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	：	水生環境有害性に関する毒性データはないため、分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	：	水生環境有害性に関する毒性データはないため、分類できない。水生環境有害性に関する毒性データはないため、分類できない。
オゾン層への有害性	：	下記より、分類できないとした。
オゾン層への影響	：	モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	：	容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制		
海上規制情報	：	非危険物
航空規制情報	：	非危険物
国連番号	：	なし
海洋汚染物質	：	非該当
国内規制		
海上規制情報	：	非危険物
航空規制情報	：	非危険物
特別な輸送上の注意	：	荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。 輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こ

その他の情報 : 補足情報なし。
 らないように積載・輸送する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 通知対象物質 非該当
 表示対象物質 非該当
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 消防法 : 非該当
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 非該当

16. その他の情報

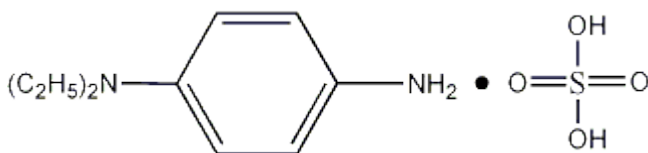
引用文献 : [*01] RTECS(1972)
 [*02] RTECS(1986)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
 中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499 (情報料無料)
 365日24時間対応
 (つくば) 029-852-9999 (情報料無料)
 365日9~21時対応
 医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923 (1件2000円)
 365日24時間対応
 (つくば) 029-851-9999 (1件2000円)
 365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。



CAS 番号 : 6283-63-2

化学名 : N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩

